

情報公開文書(オプトアウト文書)

「地域連携からみえる精神科医療の多層性― 病棟を越えて広がる支援の可能性 ―」へのご協力のお願い

神奈川県立精神医療センター患者サポートセンター地域連携科では、当センターに入院された方の主症状、入院待機期間、入院病棟を検討し、精神科医療の変化を踏まえた今後の支援体制に関する研究を実施しています。本研究は、当センターの病棟編成や機能分化・統合等を検討する際の一助になると考えております。

研究課題名	地域連携からみえる精神科医療の多層性― 病棟を越えて広がる支援の可能性 ―
研究の対象	2025 年 4 月 1 日～8 月 31 日までに当センターに入院した患者のうち、医療観察法及び鑑定入院を除く 679 人から、入院待機期間が 1 日以内であった 244 名を最終的な分析対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	電子カルテから主たる症状を最大 2 項目、入院病棟、入院待機日数に関する情報を抽出します。各項目間の関連性を探索的に検討し、傾向を把握することで今後の支援体制に関する示唆を得たいと考えています。 ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～令和 8 年 5 月 31 日
研究に使用する試料・情報の種類	対象となる方の電子カルテから入院日診察時の症状を ICD-10 および DSM-5-TR を参考に作成した、以下 20 項目のうちから主たるものを最大 2 項目まで選択した。(1. 幻覚妄想、2. 精神運動興奮、3. 思考障害、4. 抑うつ気分、5. 意欲低下、6. 食欲低下、7. 希死念慮、8. 自殺企図、9. 躁状態、10. 強迫行為、11. 解離、12. 不安焦燥、13. パニック、14. 過摂食、15. 自傷行為、16. 他害行為、17. 衝動性、18. 睡眠障害、19. 依存行動、20. 過量服薬) さらに入院病棟の種類（一般精神、専門、救急）、入院待機日数に関する情報。
研究実施機関(研究組織)	主研究機関:神奈川県立精神医療センター 研究責任者:患者サポートセンター 地域連携科 佐藤泰幸
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	主研究機関:神奈川県立精神医療センター 患者サポートセンター 地域連携科長:白石 美由紀

本研究はヘルシンキ宣言(2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする生命

科学・医学系研究に関する倫理指針(2022 年 4 月 1 日施行)に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定することはできません。

本研究は神奈川県立精神医療センター患者サポートセンター地域連携科で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口につきましても下記連絡先にお問合せください。

連絡先:研究責任者 患者サポートセンター 地域連携科兼患者相談室 佐藤泰幸
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel:045-822-0241